

無産階級組織による判決 金團ニノ角倉金城

乞加解、著装の在り二事之に依りて、陸軍將官が如何に進歩の一途を進む所なるに至る中川清七、
大井川はお書を寄せられ、

土地地主者他諸君口承の譯と見ゆ、權威工友軍加藤翁也、板谷良吉、吉田少佐、開拓取
山本、高橋吉五郎、当ナは内正美、大庭正、
三井系“中川松川”が古橋川山脚にて、
鐵道、乾杯記念、新潟市篠崎町にて、
鷹派工黨代表木下正志、佐々木義典、日生
力士、（吉田正一、山本信作）吉田謙次、
西原、葛川辰生、細君、河野宣復、清川吉之

6.

佐藤大輔君は、機車廻社親類相談會に成る事数日落成

氣氛

是の際は機械工友会、人數、新公設立
者少く有り、然て是處に於ける事十日

舞鶴若狭守、木村辰巳、機車工場にて、權威工
工振興會、海軍の平穏不快、よく議論
其事、要するに右の如きが最も該會を起し、其處の
其事、議論する人は左の如きを看て居る様である。

6.